
君が好き過ぎるんだ。

ごまぞう

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

君が好き過ぎるんだ。

【Nコード】

N1877P

【作者名】

ごまぞう

【あらすじ】

田代優希は、塾でたまたま隣だった女の子『藤本梓』に恋をする。優希はどんどん彼女に惹かれていくが、梓と優希の接点が全くない。それでも優希は諦めないで必死に自分の存在をアピールし続ける。

恋する男子はどんな行動に出るのか？

一目惚れでした。

「めんどくせー…」

俺が独り言を言うと横にいる中山先生に睨まれた。

俺はしかたがなく目線を英語だらけのプリントにうつした。

でもやる気は起きない。

というか、何で俺は2時間連続で塾の授業を受けないといけないのだ。

確かにもうすぐ中3だ。

正直言つて、英語も理科も大嫌いだ。

でも2時間連続はキツイだろ…。

「はあ…」

俺がため息をつくとまた中山先生に睨まれ、「早くやれ」と言われた。

ここは、そこそ有名な個別指導塾。

個別といっても、先生1人に対して生徒は2人である。

俺は、この辺の『明治ヶ丘中学』に通ってるこの春中学3年に進級する水泳馬鹿である。

友達もまあまあいる普通の男子中学生である。

カチャ、

「すみません、遅刻しました。」

俺は声がする方を見た。

その瞬間、何か心の中でキュツと締め付けるものに出会った。
…何だこれは？

「おー、遅いぞ。春期講習早々遅刻なんて、お前中々やるなー。ほ
らここ座ってテキスト出せ」

中山先生がそういうと、その子がストンと椅子に座った。

正直驚いた。

肌の色はそんなに白くは無いが、
肩より少し長い髪をサイドで結んでいて前髪はパツツン。
目は大きくて小柄な女の子である。

はつきり言って、顔は中の上くらいのその辺にいる普通の子である。
でも俺は、何故か釘付けになってしまった。

彼女が俺と同じ英語のテキストを出すと、

中山先生がこちらを向いて、

「田代。3分後にこれできなかつたら居残りな。」

と言った。

アセって俺はプリントに向かって必死で解いた。
でも、俺は横の女の子の事で頭がいつぱいだった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1877p/>

君が好き過ぎるんだ。

2010年11月28日08時35分発行